

公共ホールのあり方検討にあたっての基本的な考え方（案） に関するパブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

川崎市では、保有するさまざまな施設の最適な維持管理や活用等を行うため、令和4（2022）年3月に「資産マネジメント第3期実施方針」を策定するなど、資産マネジメントの取組を進めてきたところです。

「資産マネジメント第3期実施方針」では、施設が持つべき機能について検討を行うとともに、施設におけるこれまでの使用目的、対象者等や、従来の施設配置の考え方について再検討することとしており、ホールのあり方検討は、ホール機能に着目した資産マネジメントの取組です。

今後策定を進める『ホールのあり方』の中では、ホール機能を有する施設の将来的な適正配置、施設毎の機能分担の考え方に加え、持続可能な施設運営の考え方や複合化・改修等の検討を行う施設の考え方を整理する予定ですが、このたび、今後検討を行う上での課題認識や検討にあたっての視点等を整理した「公共ホールのあり方検討にあたっての基本的な考え方（案）」をとりまとめ、市民の皆様から御意見を募集しました。

その結果、13通（意見総数47件）の御意見をお寄せいただきましたので、その内容とそれに対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

題名	公共ホールのあり方検討にあたっての基本的な考え方（案）について
意見の募集期間	令和4年6月2日（木）から令和4年7月15日（金）まで（44日間）
意見の提出方法	電子メール（ホームページ専用フォームを含む）、郵送又は持参、FAX
募集の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だより（令和4年7月1日号掲載） ・ 市ホームページ ・ 紙資料の閲覧 各区役所・支所・出張所の閲覧コーナー、かわさき情報プラザ、ホール機能を有する各施設（各市民館、労働会館、スポーツ・文化総合センター、川崎能楽堂、産業振興会館、ラゾーナ川崎プラザソル、川崎シンフォニーホール、総合自治会館、国際交流センター、総合福祉センター、コンベンションホール、市民プラザ、男女共同参画センター、アートセンター）、総務企画局公共施設総合調整室
結果の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市ホームページ ・ 紙資料の閲覧 各区役所・支所・出張所の閲覧コーナー、かわさき情報プラザ ホール機能を有する各施設（各市民館、労働会館、スポーツ・文化総合センター、川崎能楽堂、産業振興会館、ラゾーナ川崎プラザソル、川崎シンフォニーホール、総合自治会館、国際交流センター、総合福祉センター、コンベンションホール、市民プラザ、男女共同参画センター、アートセンター）、総務企画局公共施設総合調整室

3 結果の概要

意見提出数		13通
(内訳)	電子メール（ホームページ専用フォーム含む。）	13通
	FAX	0通
	郵送	0通
	持参	0通
意見総数		47件

4 御意見の内容と対応

公共ホールのあり方検討にあたっての基本的な考え方（案）に対する御意見として、あり方検討全般に関する御意見のほか、施設配置、施設規模、施設運営等に関する御意見など多くの御意見をいただきました。

今後はいただいた御意見を参考に、公共ホールのあり方検討を進めていくこととし、「公共ホールのあり方検討にあたっての基本的な考え方」については、必要な時点修正等を加えた上で、当初案のとおり取りまとめます。

【対応区分】

- A：御意見を踏まえ、案を加筆・修正するもの
- B：御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見を踏まえ取組みを推進するもの
- C：今後取組みを進める中で参考とするもの
- D：案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E：その他

【意見の件数と対応区分】

項目	A	B	C	D	E	計
(1) あり方検討全般に関すること	0	8	5	6	0	19
(2) 施設配置に関すること	0	0	0	1	0	1
(3) 施設規模に関すること	0	0	2	5	0	7
(4) 設備に関すること	0	1	1	2	0	4
(5) 練習利用に関すること	0	0	3	0	0	3
(6) 施設運営に関すること	0	0	3	7	0	10
(7) 民間ホールとの連携に関すること	0	0	0	1	0	1
(8) 個別施設に関すること	0	0	0	2	0	2
合計	0	9	14	24	0	47

5 具体的な御意見の内容と市の考え方

(1) あり方検討全般に関すること (19件)

	主な意見(要旨)	市の考え方	対応区分
1	施設の老朽化・人口減少・財政状況を鑑みると、公共ホールを今までの規模・形態で更新していくのは難しい。(他同趣旨1件)	今後見込まれる人口減少、厳しい財政環境、将来世代の負担等を踏まえると、ホール機能を有する施設について、これまでと同様の設備・規模で更新していくことは非常に困難であると考えておりますが、市民ニーズに的確に対応するとともに、現在の利用実態や将来の利用想定を踏まえながら引き続き市民サービスを提供することも必要であると考えております。	B
2	ホールを使用する人達が使いやすく、観客が入りやすい施設にして欲しい。	このため、市内の公共ホール全体の利用実態や配置状況を踏まえながら、現在の機能・規模の適正化を念頭に各ホールで適切に役割分担を行うことを検討してまいります。	B
3	提供機能を分担するなど、公共ホールが担う役割について整理が必要である。 (他同趣旨1件)	今後、市内の公共ホール全体の利用実態や配置状況を踏まえ、現在の機能・規模の適正化を念頭に各ホールで適切に役割分担を行うことを検討してまいります。	B
4	休日に利用されることが少ない学校等の公共施設を練習会場として利用可能とすることで、公共ホールを本番向けの利用会場にシフトさせることが役割分担として有効である可能性がある。	今後、公共ホール以外の施設での利用可能性などを考慮しながら、現在の機能・規模の適正化を念頭に各ホールで適切に役割分担を行うことを検討してまいります。	D
5	ホールの稼働率を上げることを考えなければならぬ。	多くの施設では稼働率は比較的高い状況となっていますが、稼働率が50%に満たないなど、必ずしも効果的な活用が出来ているとは言えない施設があることから、効果的な活用に向けた検討を進めてまいります。	B
6	平日の稼働率を上げるためには、高齢者の利用を平日に誘導するなり、組織での利用を推奨するなりを検討するべきである。	平日は、休日に比べ稼働率が低い傾向にあることから、平日利用への誘導などを含めて、効果的な活用に向けた検討を進めてまいります。	C
7	地震や台風・水害などの有事に対して地域住民の命や暮らしを守る観点からの検討も必要である。(他同趣旨2件)	防災・減災の視点は非常に重要であると認識しており、地域防災計画上の各施設の役割などを踏まえながら検討を進めてまいります。	C

	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
8	行政は「市民サービス」という名の下に貴重な財源を自ら手放し、また無駄使いする事なく、常に正しい道に市民をリードして欲しい。	今後見込まれる人口減少、厳しい財政環境、将来世代の負担等を考慮した上で、効率的・効果的な利活用が進むよう検討を進めてまいります。	C
9	これからの社会情勢を考え、また国や市の厳しい財政状況を憂慮し、何の為に、誰の為に、どのような規模の公共ホールが本当に必要なかを真剣に考えて欲しい。	今後見込まれる人口減少、厳しい財政環境、将来世代の負担等を踏まえると、ホール機能を有する施設について、これまでと同様の設備・規模で更新していくことは非常に困難であると考えております。 市内の公共ホール全体の利用実態や配置状況を踏まえながら、現在の機能・規模の適正化を念頭に各ホールで適切に役割分担を行うことを検討してまいります。	B
10	公共的性質が希薄な利用が多く、稼働率が低く、老朽化している建物は速やかに廃止すべきで、未来への投資に集中すべきである。	今後見込まれる人口減少、厳しい財政環境、将来世代の負担等を踏まえると、ホール機能を有する施設について、これまでと同様の設備・規模で更新していくことは非常に困難であると考えております。 今後、各ホールの利用実態や配置状況のほか、維持・更新等に必要コストなどを踏まえながら、各ホールが担う役割を検討してまいります。	D
11	今までの旧ホールは持続可能な状態で保持をして欲しい。	今後見込まれる人口減少、厳しい財政環境、将来世代の負担等を踏まえると、現在の施設をこれまでと同様の設備・規模で維持していくことは非常に困難であると考えております。 施設配置や維持・更新の考え方については、現在の利用実態や将来的な利用想定などを踏まえながら、今後の検討の中で明らかにしてまいります。	D
12	ホールは市民活動やイベント、学びの場など多種多様な役割を持つものであり、広く市民や関係団体の声を聞きながら検討を進めて欲しい。	公共ホールは様々な使われ方がされており、利用者の目線に立って検討を進めることが重要であると認識しております。 引き続き、市民や利用者のご意見を伺いながら検討を進めてまいります。	B

	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
1 3	利用者の居住エリア分析は代表者の居住地データを基に分析を行っていることから、代表者以外の状況も確認をするべき。	利用者の居住エリアについては、データとして収集可能な代表者の居住エリア分析となっていることから、データとして捕捉できない代表者以外の利用者については、施設利用者へのアンケート調査を通じて、交通手段、ホールを選ぶ際に重視する項目等を確認したところです。 引き続き、検討全般において、広く市民や利用者のご意見を伺いながら検討を進めてまいります。	D
1 4	「現在の機能・規模の適正化」とあるが、「規模の適正化」とは全ホールを存続させた上でホール毎に座席数の削減をするのか、あるいはホールの数自体を削減するのか明記すべき。	規模の適正化の具体的な内容については、現在の利用実態や将来的な利用想定などを踏まえながら、今後の検討の中で明らかにしてまいります。	D
1 5	「本市の公共ホール以外の施設との連携」について、『ホールを維持するために所有形態にこだわらず資産売却をした上で賃借を含めて検討すること』、『一部ホールの完全廃止を検討するがその場合は当該ホールの一部機能の民間施設等への分散も検討すること』を明記すべき。	資産マネジメントの観点から「必要な機能の整備を図るため、公共施設については、全てを本市が保有するのではなく、賃借を含めた適切な手法も使用する」こととしています。 将来的な公共ホールのあり方については、現在の利用実態や将来的な利用想定などを踏まえながら、今後の検討の中で明らかにしてまいります。	D

(2) 施設配置に関すること（1件）

	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
1 6	施設が南部に偏っており、不均衡を是正すべき。	今後、現在の機能・規模の適正化を念頭に各ホールで適切に役割分担を行うことを検討し、配置の考え方等を整理してまいります。	D

(3) 施設規模に関すること (7件)

	主な意見 (要旨)	市の考え方	対応区分
17	ホールの客席規模を縮小する場合、ステージの大きさも小さくなることもあるが、その場合、本番会場としては不適切な形態となる可能性があるため、ホールのキャパ(客席数)だけではなく、ステージの大きさも考慮すべき。 (他同趣旨1件)	利用演目により必要なステージの大きさは異なることから、利用者へのヒアリング等を通じて丁寧に利用実態を把握し、検討を進めてまいります。	C
18	ホール自体を縮小し、客席数も少し縮小する事が望ましい。	利用演目、利用内容などにより必要な施設規模が異なることから、各ホールの機能・規模等の検討にあたっては、市内の公共ホール全体の利用実態や配置状況を踏まえながら、現在の機能・規模の適正化を念頭に各ホールで適切に役割分担を行うことを検討してまいります。	D
19	大きなホールは不要であり、400人規模、1000人規模のホールを作って欲しい。		
20	900人規模のホールが必要である。(他同趣旨1件)		
21	客席を利用しない練習利用と観客が少ない利用は分けて考えるべき。 前者は他に練習会場の確保をしやすいことができれば解消するものであり、後者は会場キャパを適正にするのが解消方法になる。		

(4) 設備に関すること (4件)

	主な意見 (要旨)	市の考え方	対応区分
2 2	設備については、現状の利用実績だけでなく、将来市民のニーズをも考慮すべきである。	設備を含めた機能検討にあたっては、現在の利用実態だけではなく、将来の利用想定等を踏まえながら引き続き市民サービスを提供することが必要であると考えております。 各ホールの設備・規模等の検討にあたっては、市内の公共ホール全体の利用実態や配置状況を踏まえながら、現在の機能・規模の適正化を念頭に各ホールで適切に役割分担を行うことを検討してまいります。	B
2 3	ホールの客席構造を収納可能とする形態を採用することで、ピアノ発表会等の小規模演奏会とフロアを使った、社交ダンス会場、オケ等の練習会場などに利用可能な形態とするのも有効である。	多目的な利用を促す観点からは、収納可能な客席構造は有効な一形態であると考えています。 今後、各ホールが担う役割を検討した上で、各施設の機能等の検討を行ってまいります。	C
2 4	オーケストラが演奏会を開くには、ステージの広さと、反響板(上、背面、横)が最低限必要である。	利用演目などにより必要な設備が異なることから、各ホールの設備等の検討にあたっては、市内の公共ホール全体の利用実態や配置状況を踏まえながら、現在の機能・規模の適正化を念頭に各ホールで適切に役割分担を行うことを検討してまいります。	D
2 5	十分に音響、照明設備を備えた演劇に特化したホールを作って欲しい。		

(5) 練習利用に関すること (3件)

	主な意見 (要旨)	市の考え方	対応区分
2 6	本番と練習では会場に対する要件は異なっており、それぞれをうまく考慮していただきたい。	利用内容により、必要となる機能・規模が異なることから、利用実態を丁寧に把握しながら、検討を進めてまいります。	C
2 7	ホールに比べると練習ができる施設が格段に不足しており、ホールを練習会場として使用せざるを得ない場合がある。練習に使用出来る施設の開放等を検討してほしい。(他同趣旨1件)		

(6) 施設運営に関すること (10件)

	主な意見 (要旨)	市の考え方	対応区分
28	民間感覚を取り入れて事業収支を考えるべきである。(他同趣旨1件)	施設を継続的に維持していくためには、民間活力の活用などを含め民間感覚を取り入れながら運営を行うことは有効な一手法であると考えております。今後、施設の特性などを踏まえながら、時機を捉えて具体的な手法について検討してまいります。	C
29	利用時間について柔軟な対応をして欲しい。 21時まで完全退室を求められる場合、早い時間の開演をせざるを得なくなるが、会社帰りの社員が間に合う時間を考えると、催し物が実施しづらい。	内容に応じて、一部の施設では利用時間の延長が可能となっておりますが、引き続き利用者が利用しやすい環境づくりに努めてまいります。	C
30	川崎市在勤又は在住の方とそれ以外の方で利用料金を区別すべき。(他同趣旨1件)	公共サービスのコストは基本的に、市民の方に納税という形で御負担をいただいております。	D
31	公共ホールの最大の問題点は利用料金の低さである。広く市民から徴収した税金をごく一部の利用者だけが享受しているのは、税の公平性の観点からも問題である。利用者や団体もしくは利用目的が、営利であろうと非営利であろうと料金を適正な価格にするべきである。利用料から得られた収益を運営の財源としての確に活用し、無駄な税金を使わなくて済むように収支を考えた運営を行うべきである。	また、施設の利用につきましては、利用する方としない方がおりますので、負担の公平性・公正性を確保するために、受益と負担の適正化を図ってまいります。	
32	音楽などを目的にホールを利用する人は、所得が比較的高い人が多い。そのような利用に対し、公共ホールが利用料金を安くする意義は全くない。		
33	川崎市在勤又は在住の方が優先した利用が出来るようにするべきである。	一部の施設においては、申請団体の活動拠点が川崎市内にあることなどを条件に一般抽選より前に使用申請を行うことができる制度等を実施しております。 公共サービスのコストは基本的に、市民の方に納税という形で御負担をいただいていることを踏まえ、市民サービスの向上に努めていきます。	D

	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
3 4	演目に必要な道具等を運ぶトラックの留め置きが出来ない施設があるが、改善してほしい。	施設周辺の道路状況等により、トラックの留め置き等の制限をしている場合がありますが、引き続き利用者が利用しやすい環境づくりに努めてまいります。	D
3 5	市民館に指定管理者制度を導入することで、使いづらくなることが懸念される。	市民館は既に事務委託による民間活用を行っておりますが、今後の管理・運営につきましても、引き続き、より質の高いサービス提供が可能な運営となるよう取組を進めてまいります。	D

(7) 民間ホールとの連携に関すること（1件）

	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
3 6	民間事業者がある程度存在することなどから、民業圧迫とならない様に統廃合や料金の見直し、貸し出す相手を限定するなどすべきである。	<p>施設の利用料金につきましては、利用する方としない方がおりますので、負担の公平性・公正性を確保するために、受益と負担の適正化を図っていく必要があるとともに、広く市民の方に利用機会を提供する必要があると考えております。</p> <p>各ホールが担う役割の検討にあたっては、公共ホール全体に利用実態や配置状況だけでなく、民間ホールとの連携も視野に入れて検討を進めてまいります。</p>	D

(8) 個別施設に関すること (2件)

	主な意見 (要旨)	市の考え方	対応区分
37	市民プラザホールは、バックヤードや楽屋が狭く使いにくい。	施設によっては、利用者が利用しづらい場合があることから、各ホールが担う役割について検討した上で、必要となる修繕等の実施時期など時機を捉えて対応を検討してまいります。	D
38	コンベンションホールは利用料金が高すぎるため、利用料金の見直しを検討してほしい。	<p>公共サービスのコストは基本的に、市民の方に納税という形で御負担をいただいております。</p> <p>また、施設の利用につきましては、利用する方としない方がおりますので、負担の公平性・公正性を確保するために、受益と負担の適正化を図ってまいります。</p>	D

利用団体等へのヒアリング結果について

- 公共ホールの役割分担の検討について、否定的な意見はなかった。
- 集客への影響等から、**立地・交通利便性（駅からの距離）**を重視する意見が多かった。
- ステージが狭くなったことにより本番利用ができなくなったり、**空席数**だけでなく、**空席率**を求める意見も多かった。
- 各規模については**中小規模ホール**を求める意見がある一方で、**1,000席規模のホール**を求める意見もあり、**演目によって求める規模にばらつきがあった。**
- 舞台設備については音楽利用団体から音響反射板に対する意見はあったが、**その他の設備**については不足しているという意見はなかった。
- 民間ホールでは、**稼働率**を上げたいホールがある一方で、**収益**を上げるのは厳しい業態であり、**稼働率**が上がると**収支が悪化する可能性**があるという意見もあった。

● 文化芸術団体及び利用団体の主な意見

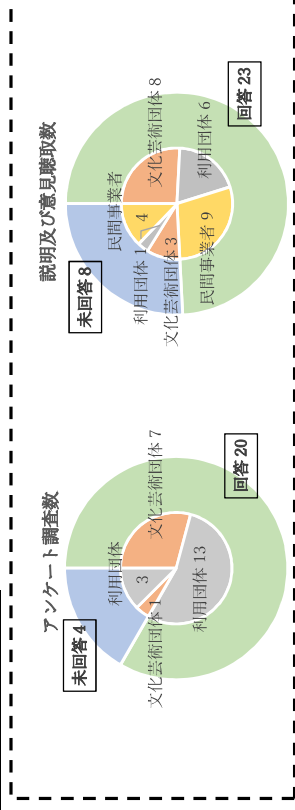
項目	主な意見（文化芸術団体・利用団体）
公共ホールの役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ● 中途半端な多目的ホールではなく、利用用途を明確にしたホールが必要、様々な意見が出ると思うが、自信を持って、ホールの役割分担を決めてほしい。（合唱関係 他同題旨2団体） ● 利用用途を明確にしたホールが整備され、選択できるようにするのがよい。（関係団体） ● 集客にも影響があるため、立地・交通利便性（駅からの距離が近いこと）が重要。 （関係団体 他同題旨14団体） ※幸市民館・市民プラザ・宮前市民館は立地・交通利便性が悪いという意見あり。
舞台	<ul style="list-style-type: none"> ● 高津市民館はステージが狭くなったため、本番利用ができなくなりましたので、空席数だけでなく、ステージの広さを考慮すべき。（オーケストラ関係 他同題旨5団体） ● 演者の待機場所などとして、舞台袖が広いことが重要。（演劇関係 他同題旨4団体） ● 300人を超える集客は少ないため、小中規模ホールがほしい。（演劇関係 他同題旨6団体） ● 客席が全て埋まる大規模な発表会もあり、1,000席規模のホールが必要。（パルエ関係他同題旨3団体）
舞台設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 使い方のわからない設備もあり、オーバースペースのように感じる。（和太鼓関係） ● 音響反射板が一部不足しており（幸市民館・男女共同参画センター）、本番利用できないため、整備してほしい。（オーケストラ関係 他同題旨1団体）
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ● トイレ休憩の際、特に女子トイレの待ち時間が長くなっており、トイレの数が少ない。（文化芸術団体 他同題旨4団体） ● トイレが旧式（和式）で使いづらい。（文化芸術団体 他同題旨4団体）
楽屋等	<ul style="list-style-type: none"> ● 講師控室及び事務局作業室として、楽屋の広さと数が重要。（講習関係 他同題旨5団体）
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ● 減免もあり、使いやすい利用料金になっている。（和太鼓関係 他同題旨9団体）
搬入・搬出	<ul style="list-style-type: none"> ● 搬入・搬出ができず、本番利用ができなかったことがあり、搬入・搬出のしやすさが重要。（演劇関係 他同題旨7団体）（高津市民館の搬入・搬出のしづらさへの意見あり）
練習会場	<ul style="list-style-type: none"> ● 練習会場が不足している。（オーケストラ関係 他同題旨4団体）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 追加料金でも構わないので終了時間をフレキシブルに対応してほしい。（パルエ関係他同題旨1団体） ● 駐車場は台数と料金の安さが重要。（和太鼓関係 他同題旨3団体）

● 民間ホール運営者の主な意見

項目	主な意見（民間ホール運営者）
公共ホールの役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ● 何でもできるホールを整備していくより、役割分担を考えた方がよいと思う。（他同題旨2事業者）
配置状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 川崎市のホールは多すぎと思う。（他同題旨1事業者） ● 200～300席程度の良いホールがない。
民間ホールの利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に平日の稼働率が低く、稼働率を上げていきたい。（他同題旨3事業者） ● 人件費や光熱水費などの運営コストを考えると、稼働率を上げると収支が悪化する可能性がある。（他同題旨1事業者）
市との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間ホールへの利用者の誘導など、市との連携は歓迎する。（他同題旨4事業者）
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共ホールの利用者としても、利用料金は安すぎと思う。（他同題旨4事業者） ● 公共ホールの予約が取れたため、民間ホールを急遽キャンセルするなど、公共ホールと天秤にかける利用者がおり、困ることがある。

● アンケート・ヒアリングの実施概要

- 令和3年12月～令和4年3月の間に、各区文化協会や利用頻度の高い市内ホール利用団体、障害者団体等、計20団体へのヒアリングやアンケートを実施した。
- パブリックコメント期間中、計23団体（文化芸術団体、利用団体、民間ホール運営者等）へ「案」について説明及び意見交換を実施した。



利用用途別の必要機能について







1. 概要

ホールは舞台機構設備、舞台照明設備、舞台音響設備などの設備を保有しているが、利用用途毎に必要とする設備に違いがあり、各ホールの利用目的に適した設備を設置する必要がある。現状、本市においては、多くの設備を保有しているホールが多いが、ホールによっては利用頻度の少ない設備があり、利用頻度が少なくても維持管理経費が必要となることから保有する設備の適正化を図る必要がある。

ホールの役割分担の検討においては、利用用途毎の必要な設備を整理した上で、各ホールの保有している設備を考慮しながら、最適な役割分担の検討を行っていく必要がある。そこで、各ホールの保有している設備を整理するとともに、関係団体など（文化芸術団体、利用団体、施設管理者）へアンケートを実施し、利用用途毎の必要な設備の整理を行った。

2. ホールの設備

ホールは、吊物機構や音響反射板、幕類などを有する舞台機構設備、サスペンションライトやボーターライト、調光操作卓などを有する舞台照明設備、スピーカーや三点吊マイク、音響調整卓などを有する音響設備等があり、また、備品においてもピアノや平台、所作台などがあり、利用目的などにより、各ホールで様々な設備を保有している。

設備	舞台機構					
	吊物機構 (大道具、幕バト)	床機構 (舞台迫り、オーストラピット)	音響反射板 (天井・正面・側面反射板)	絨帳 (本絨帳、パフカーテン、定式幕)	黒幕 (一文字幕、袖幕、暗転幕、大黒幕)	白幕 (スポット幕、スクリーン)
設備						
概要	吊物機構は大道具や舞台幕、照明器具などを吊り、昇降させる機構である。吊物機構の種類には照明バトンや幕バトンなどがあり、動作方法には手動または動力のシステムがある。	床機構は舞台床に設置された昇降、走行、回転を行う機構である。スピーディーな舞台転換、効果的な演出、立体的な舞台を構成するため使用される。また、大道具等の搬入・搬出に使用する場合もある。	音響反射板はプロセニアム形式の多目的ホールを、コンサートホール形式に変えるための舞台機構設備である。舞台上の演奏音を各席側へ反射させて、また同時に演奏者自身にも音を返し、演奏に適した音質の空間を作る。	絨帳は舞台と客席を仕切る幕である。舞台の一番前に吊られており、開演時、終演時及び休憩時などに使用される。絨帳類には、絞帳、絞リ絨帳、オペラカーテン、定式幕があり、演目により使い絞帳の種類は違うが、基本的に同じ目的を持っている。	黒い幕は、見えないように隠す目的や、両角（開口とタツツ）を構成する。照明器具の明かりが抜けないことが重要である。原則として、1つの施設においては、袖幕・一文字幕をはじめ、同じ布地を使用する。	白い幕は演出意図に合わせて照明や映像を投影し、演出効果を高める目的で使用される。照明や映像を投影して演出効果を高めるハリゾン幕、映写機やプロジェクターで映像を写すスクリーンがある。

舞台照明			
照明（舞台側） （中央ペンションライト、ボーダーライト、ポリゴンライト、トーチカライト）	照明（客席側） （フロントライト、サイドライト、シーリングスポット、フロアスポット）	調光操作卓	
 <p>舞台照明は単に舞台を明るくするという以上、舞台芸術における様々な演出に応える様々な演出に上る。客席側には、舞台上部から舞台上を照射するためのサスペンションライト、客席側から舞台上の出演者の動きに合わせて動かすフロアスポットなどがある。また、客席側には、客席の左右両側から舞台へ照射するフロントサイドライト、客席正面の上部から舞台上を照射するシーリングライト、客席側から舞台上の出演者の動きに合わせて動かすフロアスポットなどがある。舞台照明は観客の目に触れるのは、照明器具から出る光であり、照明デザインを計画する上で、用途や目的、上演演目、演出方針の違いによる、照明器具や光源の特性、性能、数量などの選択が重要である。</p>	 <p>客席側には、舞台上部から舞台上を照射するためのサスペンションライト、客席側から舞台上の出演者の動きに合わせて動かすフロアスポットなどがある。また、客席側には、客席の左右両側から舞台へ照射するフロントサイドライト、客席正面の上部から舞台上を照射するシーリングライト、客席側から舞台上の出演者の動きに合わせて動かすフロアスポットなどがある。舞台照明は観客の目に触れるのは、照明器具から出る光であり、照明デザインを計画する上で、用途や目的、上演演目、演出方針の違いによる、照明器具や光源の特性、性能、数量などの選択が重要である。</p>	 <p>オペレーターが操作することによって、作品における照明シーンを再生するための装置である。多様な照明器具の照度を調整することによって、多種多様な舞台照明デザインの実現を可能にする、舞台照明の根幹をなすものである。</p>	
設備			
概要			

舞台音響			
音響装置 （スピーカー、パリアンプ、マイク）	録音再生器	音響調整卓	三点吊マイク
 <p>音響装置には、ホールの観客と舞台音響設備の接点であるスピーカー、スピーカーを駆動するために電力増幅に特化したパワーアンプ、空気を振動を音声電気信号に変えるマイクなどがある。スピーカーには、客席の壁面に設置されるウォールスピーカー、客席天井部に設置されるシーリングスピーカー、客席天井部から舞台上を照射する移動スピーカーがある。</p>	 <p>録音再生器は、CDレコーダー、MDレコーダー、ハードディスクレコーダー、メモリーレコーダーなどがある。舞台音響では録音された音を再生することも重要である。</p>	 <p>音響調整卓は多数のマイクや再生機器類からの入力信号をミキシングして、常設スピーカーや移動スピーカーなど、多数の出力系統へ送っている。ホールでは音響調整室の音響調整卓がシステムの要である。</p>	 <p>3本のワイヤーで吊り下げるマイククロホン装置のことで、主にホールや劇場の客席前部の天井に設置されている。三点吊マイククロホンは、演奏など録音のメインマイクのほか、ノイズ取用、エアモニター用のマイクとしても使用される。</p>
設備			
概要			

その他				
プロジェクター	ピアノ	プラットフォーム	所作台	松羽目、竹羽目
				
プロジェクターは映像コンテンツの投影だけでなく、舞台美術や照明の補助的な役割や、映像ならではの演出効果を担うなど、様々な目的で使用されている。	ピアノは音域や音量の幅、用途の幅広さなどが長所であり、独奏だけではなく、オーケストラ等との協演も得意とし、オールマイティな性能を持つ。	舞台の上で高低をつける為の床(二重・山台)で、主にオーケストラ他演奏者のひな段・屋台造りに使用される。	主に能・歌舞伎・日舞等で使用する、足拍子がよく鳴るよう設計し製作された台。天板の材質は桧系無節材が使用される。	松羽目は大きな松の絵が描いてあるもので、歌舞伎や能、日本舞踊など日本の伝統芸能を上演するときに使用される。「所作台」とともに使用するのが一般的である。

3. 本市の各ホールの保有設備

- 約4割の施設(労働会館、スポーツ・文化総合センター、総合福祉センター、川崎市民プラザ、宮前市民館、多摩市民館、麻生市民館の7施設)で全ての設備を保有しており、多目的な利用が可能である。
- 産業振興会館、幸市民館、中原市民館、高津市民館、男女共同参画センターについても多くの設備を保有しており、多目的な利用が可能である。

施設	舞台機構				照明設備			音響設備				その他(備品)						
	吊物機構	床機構	音響反射板	総巻類	黒幕類	白幕類	照明(舞台側)	照明(客席側)	調光操作卓	音響装置	録音再生器	音響調整卓	三点吊りマイク	アンプ/カー	ピアノ	平台	所作台	松羽目、竹羽目
川崎市立労働会館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
スポーツ・文化総合センター	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎産業会館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市産業振興会館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
ラフォーナ川崎プラザソル	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎シンフォニーホール	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
幸市民館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市総合自治会館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市国際交流センター	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
中原市民館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市民コンベンションホール	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市総合福祉センター	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市民プラザ	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
高津市民館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市男女共同参画センター	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
宮前市民館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
多摩市民館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
麻生市民館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市アートセンター	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有

※設備の有無の判定に性能・仕様等は考慮していない

4. 利用用途毎の必要な設備

(1) アンケート調査

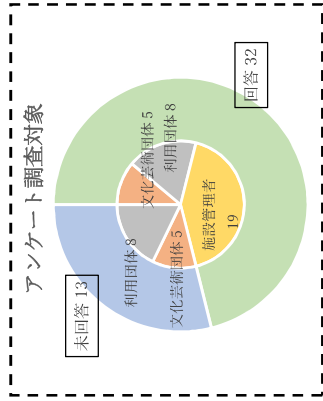
ホールを利用する際に、利用用途毎に使用する設備について、45の関係団体など(文化芸術団体など(10団体)、利用団体(16団体)、施設管理者(19施設))を対象にアンケートを実施し、32の関係団体などから回答を得た。

アンケートは、ホールのあり方検討にあたっての基本的な考え方にある「利用用途別利用割合」を基本とした「17の利用用途を対象とし、各設備の利用頻度を4段階(「◎:必ず使用する、○:使用することが多い、▲:あまり使用しない、x:使用しない)」で照会した。

アンケート結果から、利用頻度を点数化(「◎:3点、○:2点、▲:1点、x:0点」とし、平均点から「2.50以上:◎、1.50~2.50未満:○、0.50~1.50未満:▲、0.50未満:x」として判定した。

判定方法のイメージ

設備用途	a	b	c	d	平均点	判定
A	○	▲	▲	▲	1.25	▲
B	▲	◎	○	○	2.00	○
C	x	▲	x	x	0.25	x



(2) 利用用途毎の必要な設備

- オーケストラや吹奏楽などの「音楽」は音響反射板、三点吊マイク、ピアノ、平台が必要となる。一方で、舞台機構の吊物機構や幕類は不要となる。
- 演劇、ダンス、バレエなどの「演劇・ダンス等」は床機構、音響反射板、三点吊マイクは不要であるが、それ以外の舞台機構、照明設備、音響設備は必要となる。「音楽」と必要とする設備が相反する。
- 日本舞踊・能や太鼓などの「伝統芸能等」は、「演劇・ダンス」と同様の設備を必要とし、日本舞踊・能など、用途によって所作台、松羽目・竹羽目も必要となる。
- 「その他」は、カラオケ、映画会は音響設備のほか、照明設備や白幕類が必要であり、「演劇・ダンス」に必要な設備を保有するホールであれば利用可能である。また、会議、展示会、健康診断は必要とする設備は少なく、どのホールでも利用可能である。
- 音響装置(スピーカー、アンプ、マイク)は全ての用途で必要となる。

分類	利用用途	舞台機構				照明設備				音響設備				その他						
		吊物機構	床機構	音響反射板	網帳類	白幕類	黒幕類	客席側照明	舞台側照明	調光操作卓	音響装置	録音再生器	音響調整卓	三点吊マイク	アンプ/エコー	ピアノ	平台	所作台	松羽目、竹羽目	
音楽	オーケストラ	x	▲	○	▲	x	x	▲	▲	▲	▲	▲	○	x	x	○	x	x	x	x
	吹奏楽	x	▲	○	x	x	x	x	▲	▲	▲	▲	○	x	x	○	x	x	x	x
	合唱	x	▲	○	x	x	x	▲	▲	▲	▲	▲	○	x	x	○	x	x	x	x
演劇・ダンス等	ピアノ	x	▲	○	x	x	x	▲	▲	▲	▲	▲	○	x	x	○	x	x	x	x
	演劇・ミュージカル	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	▲	○	x	x	x	x
	ダンス	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x
	バレエ	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x
伝統芸能等	幼稚園等生活発表会	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	▲	○	x	x	x	x
	日本舞踊・能	○	x	x	○	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	x	x	x	x	x	x	○	x
	邦楽	○	x	x	○	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	x	x	x	x	x	x	x	x
	落語	○	x	x	○	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	x	x	x	x	x	x	x	x
その他	太鼓	○	x	x	○	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	x	x	x	x	x	x	x	x
	会議・セミナー等	▲	x	x	x	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	x	x	▲	x	▲	x	x	x
	カラオケ	▲	x	x	x	▲	▲	▲	▲	○	○	○	x	x	x	x	▲	x	x	x
	映画会	x	x	x	x	○	▲	▲	▲	▲	○	○	x	x	○	x	x	x	x	x
その他	展示会	x	x	x	x	x	x	▲	▲	x	▲	○	x	x	x	x	x	x	x	x
	健康診断	x	x	x	x	x	x	x	x	x	▲	▲	x	x	x	x	x	x	x	x

利用用途によって必要とする設備に一定の傾向が見られ、音響反射板や三点吊りマイクなどを必要とする「音楽」、吊物機構や幕類、照明設備等を必要とする「演劇・ダンス等」、音響装置や照明設備、平台等を必要とする「伝統芸能等」、必要とする設備が少ない「その他」の4分類に分けることができる。

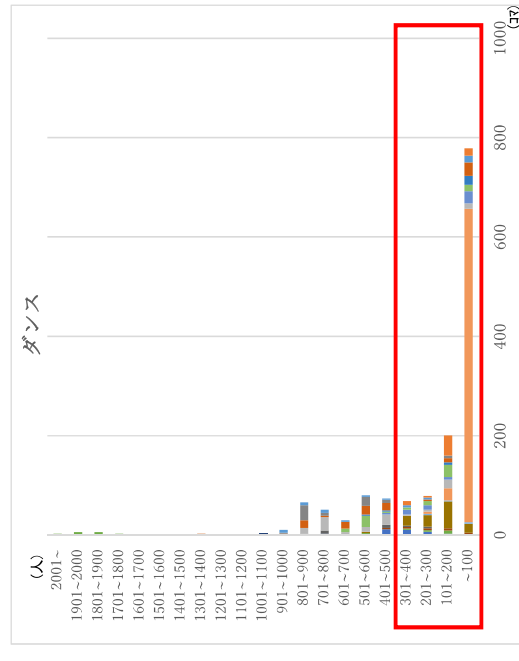
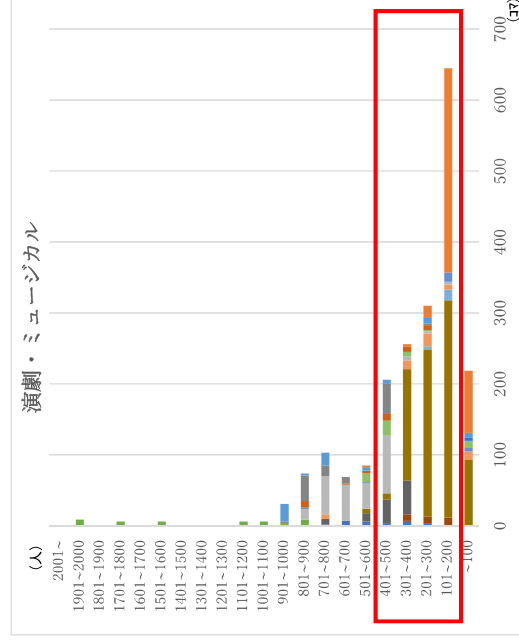
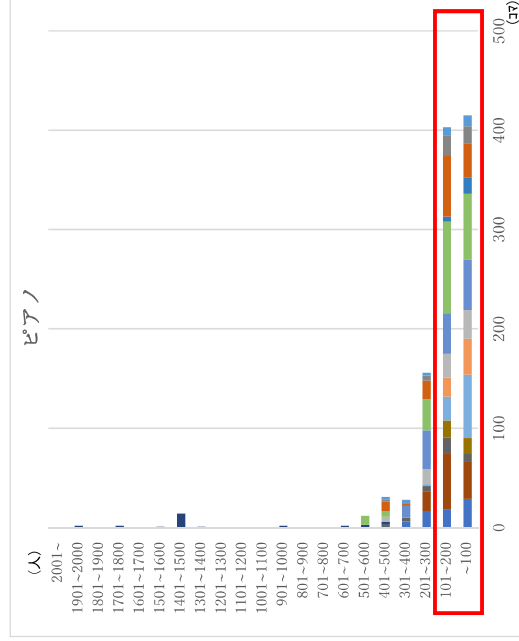
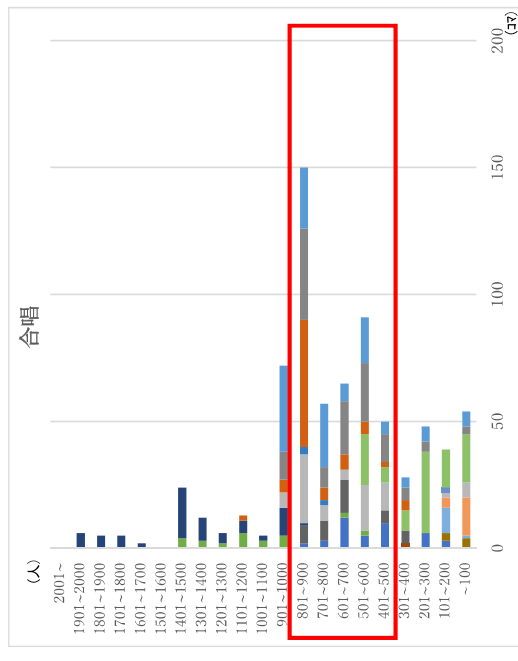
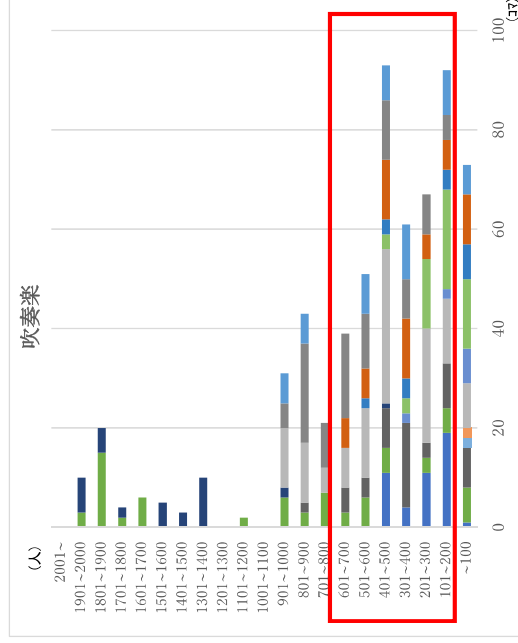
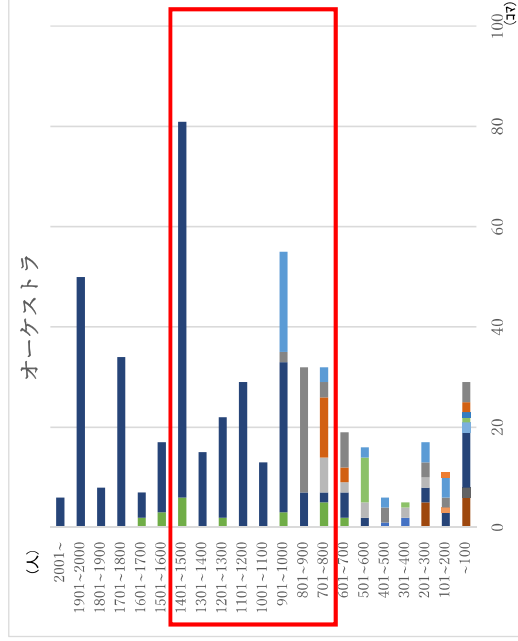
利用用途別の必要規模について

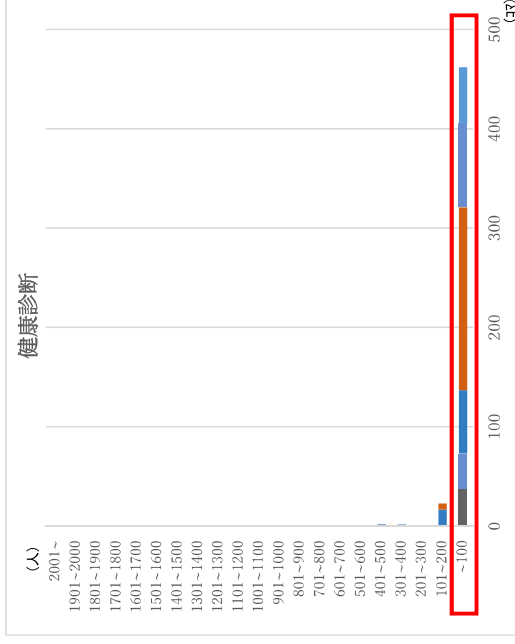
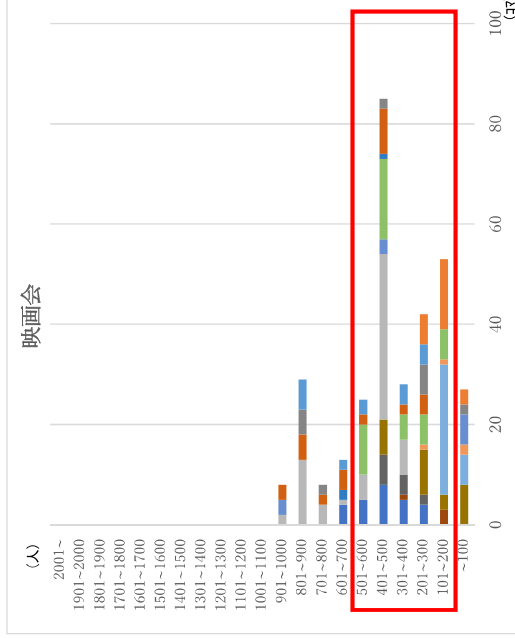
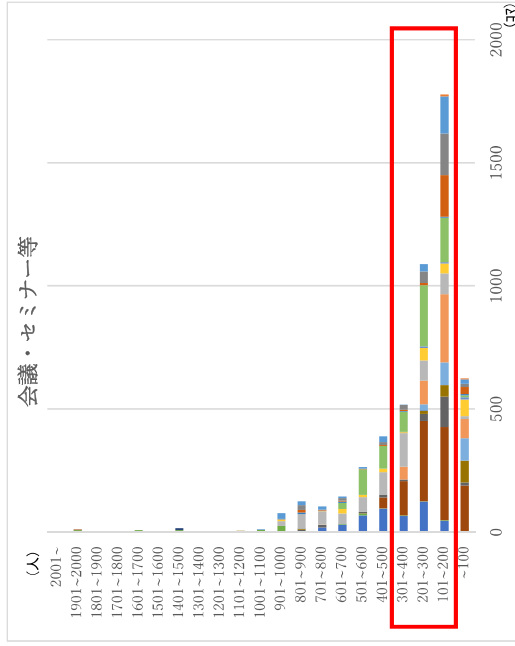
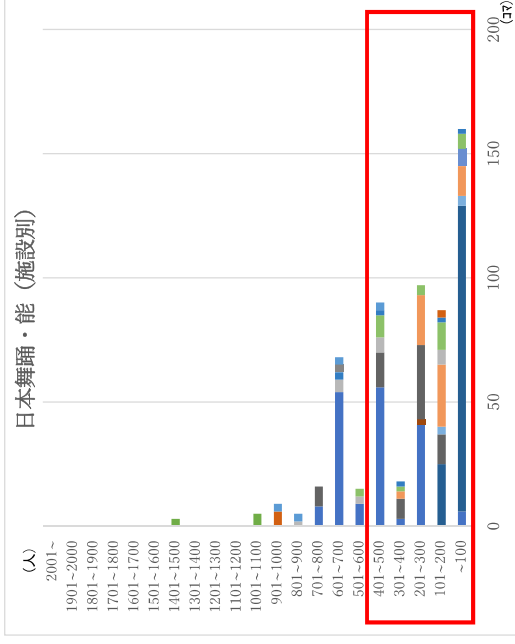
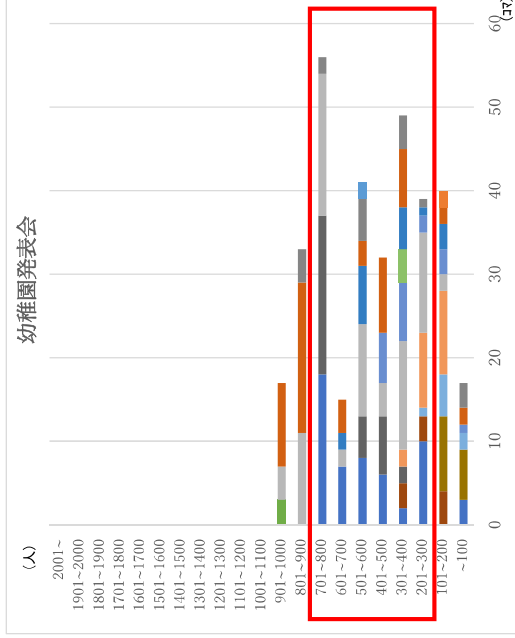
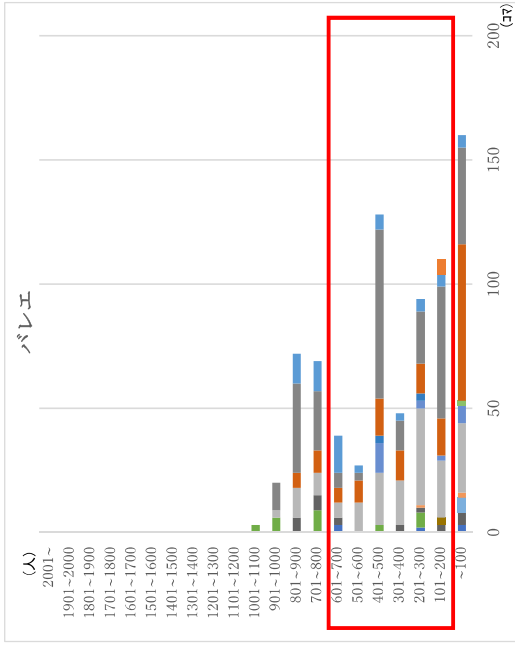
1. 概要

利用用途別に求められる施設規模（客席規模）が異なることから、利用者データを用いて、本番利用時の各用途に必要な客席規模について分析を行った（「基本的な考え方」での利用用途分類を一部細分化）。分析にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、平成28年度～平成30年度の3か年データの母集団とした。

2. 利用用途別の利用客席数

各利用用途において、100人毎の利用人数（客席数）に対する利用コマ数（全19ホール合計）の整理を行った。利用人数の少ない方から数えて、25%目～75%目のデータの範囲を赤枠にて示している。オーケストラでは701～1500人の範囲となっているが、ピアノでは0～200人の範囲となっているなど、利用用途により、必要となる利用客席数が異なっていることがわかる。





■ : 川崎市労働会館、■ : スポーツ・文化総合センター、■ : 川崎健康堂、■ : 川崎産業会館、■ : ラゾーナ川崎プラザソル、■ : 川崎シニアホール、■ : 幸市民館、■ : 川崎シニアホール、■ : 川崎市民総合自治会館、■ : 川崎市国際交流センター、■ : 中原市民館、
■ : 川崎市コンベンションホール、■ : 川崎市総合福祉センター、■ : 川崎市民プラザ、■ : 高津市民館、■ : 川崎市民館、■ : 川崎市男女共同参画センター、■ : 宮前市民館、■ : 多摩市民館、■ : 川崎市民館、■ : 川崎市アートセンター、■ : 麻生市民館、■ : 川崎市アートセンター

他公共施設への誘導の可能性について

1. 概要

公共ホールの利用状況を見ると、練習利用や少人数での利用など、ホール以外でも対応可能と思われる利用もある。これらの利用について、本市の他の公共施設での対応が可能か、各施設の調査を行い、公共ホール以外の公共施設との連携（公共ホールの利用目的に応じた各公共施設への誘導）を検討する。19の公共ホールから半径2km圏内に位置する114の公共施設を対象（区役所支所・出張所、学校施設除く）とし、公共ホールで利用されているピアノ、楽器演奏、ダンス等について、各居室での利用可否を、利用条件や防音機能など、ソフト・ハードの面から調査を行った。

【調査概要】

- 対象施設
 - 1.9の公共ホールから半径2km圏内に位置する114の公共施設（区役所支所・出張所、学校施設除く）。
- 調査方法
 - 各施設の利用条件（年齢制限、居住地制限等）と、9の利用用途（ピアノ、楽器演奏、合唱、演劇・ミュージカル、ダンス、バレエ、会議・講習会等、カラオケ、映画会）における、各居室の利用可否等について施設所管課へ照会を行った。

2. ホール利用の誘導の可能性

各施設の利用について、「一般利用」（市民の利用可否）、「利用者の条件」（年齢や居住地等の制限の有無）、「各用途の利用可否」、「ホール利用の誘導の可能性」を整理した。なお、老人福祉センター、老人いこいの家、こども文化センター、スポーツセンターは、同一機能を持つ複数の施設があるため1つの分類（施設名）とした。（例：40施設ある老人いこいの家は、「各老人いこいの家」として整理）

- ほとんどの施設（114施設中111施設）で一般利用（市民利用）が可能（条件付き含む）である。
- 一方で、一般利用可能な施設の内、ほとんどの施設（114施設中105施設）で年齢、居住地などの利用者の条件がある。また、利用者の条件がある施設の中で、稼働率が低い施設もある。
- 約9割の施設（114施設中101施設）でホール利用の誘導が可能な居室がある（表中の「○」）。また、ほとんどの施設（114施設中110施設）で誘導が可能、または誘導の可能性があると考えられる。（表中の「○」と「▲」）
- 利用用途の制限がある居室の多くは、防音仕様となっていないことが理由となっている。
- 一般利用が不可となっている施設が3施設ある。

施設名	居室	面積	稼働率	一般利用	利用者の条件	ピアノ	楽器演奏	合唱	演劇・ミュージカル	ダンス	バレエ	会議・講習会等	カラオケ	映画会	ホール利用の誘導の可能性		
															可能性あり	可能性あり	
教育文化会館大師分館	第1学習室	87㎡	79.1%	可	無	×	×	×	×	▲ (79/2024)	×	○	×	×	▲	・会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。	
	第2学習室	52㎡	69.2%	可	無	×	×	×	×	▲ (79/2024)	×	○	×	×	▲	・会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。	
	第1・2学習室合併	139㎡		可	無	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	・バレエ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	実習室	51㎡	57.7%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	▲	・防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	和室	28㎡	33.3%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	▲	・防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。

施設名	諸室	面積	稼働率	一般利用	利用者の条件	利用可否										ホール利用の誘導の可能性		
						ピアノ	楽器演奏	合唱	演劇・ミュージカル	ダンス	バレー	会議・講演会等	カラオケ	映画会				
生活文化会館	てくのホール	194㎡	72.8%	可	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全ての利用が可能であり、誘導は可能。
	第1研修室	60㎡	74.6%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	第2研修室	34㎡	75.3%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	第3研修室	46㎡	74.6%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	第4研修室	24㎡	77.5%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	第5研修室	65㎡	75.1%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	談話室	18㎡	73.5%	可	無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	会議室	97㎡	50.9%	可	無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	展示場	90㎡	51.6%	可	無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	和室	51㎡	64.7%	可	無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	調理実習室	97㎡	31.2%	可	無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	洋裁実習室	54㎡	61.3%	可	無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	理容・美容実習室	65㎡	64.0%	可	無	×	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	×	○(小音量)	×	○(小音量)	小音量という条件付きだが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	工作実習室	161㎡	65.4%	可	無	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	○(小音量)	×	○(小音量)	×	○(小音量)	○(小音量)	外の利用が可能であり、誘導は可能。
	陶芸実習室	59㎡	28.1%	可	無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。

施設名	諸室	面積	稼働率	一般利用	利用者の条件	ピアノ	楽器演奏	合唱	演劇・ミュージカル	ダンス	バレエ	会議・講演会等	カラオケ	映画会	利用可否		
															ホール利用の誘導の可能性	その他	
青少年の家	プレイホール	214㎡	49.5%	可	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全ての利用が可能であり、誘導は可能。
	音楽室	126㎡	35.2%	可	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全ての利用が可能であり、誘導は可能。
	創作活動室	86㎡	27.1%	可	無	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	研修室1	63㎡	34.6%	可	無	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	研修室2	60㎡	29.5%	可	無	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	特別研修室	60㎡	26.0%	可	無	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	談話室	63㎡	16.1%	可	無	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	401 会議室	211㎡	41.9%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	402 フロントホールA	180㎡	71.1%	可	無	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	・演劇・ミュージカル、ダンス、バレエの利用が可能であり、誘導は可能。
	301 会議室	101㎡	46.3%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	302 多目的ホール	124㎡	76.5%	可	無	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	・カラオケ、会議・講演会等以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	303 会議室	58㎡	38.5%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	201 会議室	101㎡	40.5%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・防音仕様がでないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	202 会議室	86㎡	32.0%	可	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全ての利用が可能であり、誘導は可能。
	203 活動室	120㎡	65.5%	可	無	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	・演劇・ミュージカル、ダンス、バレエの利用が可能であり、誘導は可能。
東海道かわさき畜交流館	101 活動室	36㎡	38.2%	可	無	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	・小音量という条件付きだが、ピアノ、カラオケ、映画会以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	第1 集会室	48㎡	66.4%	可	無	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	・ダンス、バレエ、映画会、会議・講演会等の利用が可能であり、誘導は可能。
	第2 集会室	69㎡	50.4%	可	無	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	・ダンス、バレエ、映画会、会議・講演会等の利用が可能であり、誘導は可能。
	第1・2 集会室合併	117㎡		可	無	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	・ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	談話室	15㎡	33.2%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。

施設名	諸室	面積	稼働率	一般利用	利用者の条件	ピアノ	楽器演奏	合唱	演劇・ミュージカル	ダンス	パレエ	会議・講演会等	カラオケ	映画会	ホール利用の誘導の可能性
															ホール利用の誘導の可能性
浅野町工場の会館	会議室1	70㎡	不明	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	会議室2	60㎡	不明	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	会議室1・2合併	130㎡		可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	会議室3	70㎡	不明	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
消防会館	会議室	70㎡	0.8%	可	無	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	会議室	50㎡	11.0%	可 (条件付)	年齢	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・利用者の条件はあるが、防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
かわさき健康づくりセンター	小会議室	13㎡	18.5%	可 (条件付)	年齢	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・利用者の条件はあるが、防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	研修室	73㎡	14.9%	可 (条件付)	年齢	×	×	○	×	○	×	○	×	×	・利用者の条件はあるが、合唱、ダンス、会議・講演会等であれば、誘導は可能。
	フィットネススタジオ	91㎡	23.4%	可 (条件付)	年齢	×	×	○	×	○	×	×	×	×	・利用者の条件はあるが、合唱、ダンス、会議・講演会等であれば、誘導は可能。
	大広間 (ホール)	72㎡ (幸)	不明	可 (条件付)	年齢	×	×	○	○	○	○	○	×	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、楽器演奏、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	訓練室	165㎡ (幸)	不明	可 (条件付)	年齢	×	×	○	○	○	○	○	×	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、楽器演奏、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	クラブ室	38㎡ (幸)	不明	可 (条件付)	年齢	×	×	○	○	○	○	○	×	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、楽器演奏、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	工作室	28㎡ (幸)	不明	可 (条件付)	年齢	×	×	○	○	○	○	○	×	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、楽器演奏、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
各老人いこいの家 (44施設)	大広間	79㎡ (小田)	不明	可 (条件付)	年齢	×	×	○	○	○	○	○	×	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、楽器演奏、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	クラブ室	22㎡ (小田)	不明	可 (条件付)	年齢	×	×	○	○	○	○	○	×	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、楽器演奏、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	談話室	16㎡ (小田)	不明	可 (条件付)	年齢	×	×	○	○	○	○	○	×	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、楽器演奏、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	集会室	45㎡ (小田)	不明	可 (条件付)	年齢等	×	×	×	×	○	○	○	×	○	・利用者の条件はあるが、ダンス、パレエ、映画会、会議・講演会等の利用が可能であり、誘導は可能。
各子ども文化センター (44施設)	遊戯室	53㎡ (小田)	不明	可 (条件付)	年齢等	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・利用者の条件はあるが、防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	図書室	18㎡ (小田)	不明	可 (条件付)	年齢等	×	×	×	×	×	×	○	×	×	・利用者の条件はあるが、防音仕様でないため、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。

利用可否																
施設名	諸室	面積	稼働率	一般利用	利用者の条件	ピアノ	楽器演奏	合唱	演劇・ミュージカル	ダンス	バレエ	会議・講演会等	カラオケ	映画会	ホール利用の誘導の可能性	
麻生区市民活動支援施設	会議室A	32㎡	50.1% (R2)	可 (条件付)	居住地等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・利用者の条件はあるが、全ての利用が可能であり、誘導は可能。 ・利用者の条件はあるが、全ての利用が可能であり、誘導は可能。
	会議室B	40㎡	55.0% (R2)	可 (条件付)	居住地等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・利用者の条件はあるが、全ての利用が可能であり、誘導は可能。 ・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	サロン	80㎡	48.4% (R2)	可 (条件付)	居住地等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・利用者の条件はあるが、全ての利用が可能であり、誘導は可能。 ・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
麻生区役所植生分庁舎	ホール	116㎡	93.6%	可 (条件付)	居住地等	×	○	○	▲ (マイク不可)	○	○	○	×	○ (小音量)	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。 ・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	第1会議室	57㎡	40.5%	可 (条件付)	居住地等	×	○	○	○	○	○	○	×	○ (小音量)	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。 ・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	第2会議室	57㎡	34.9%	可 (条件付)	居住地等	×	○	○	○	○	○	○	×	○ (小音量)	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。 ・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	第3会議室	36㎡	49.9%	可 (条件付)	居住地等	×	○	○	○	○	○	○	×	○ (小音量)	○	・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。 ・利用者の条件はあるが、ピアノ、カラオケ以外の利用が可能であり、誘導は可能。
	和室	21㎡	33.4%	可 (条件付)	居住地等	×	○	○	○	×	×	×	×	○ (小音量)	○	・利用者の条件はあるが、楽器演奏、合唱等の利用が可能であり、誘導は可能。 ・利用者の条件はあるが、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	大会議室	117㎡	4.3%	可 (条件付)	居住地等	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	・利用者の条件はあるが、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。 ・利用者の条件はあるが、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
平間会館	小会議室	30㎡	1.9%	可 (条件付)	居住地等	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	・利用者の条件はあるが、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。 ・利用者の条件はあるが、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	和室	40㎡	1.9%	可 (条件付)	居住地等	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	・利用者の条件はあるが、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。 ・利用者の条件はあるが、会議・講演会等であれば、誘導の可能性あり。
	大体育室	1622㎡ (多摩)	92.6% (多摩)	可 (条件付)	利用目的	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。 ・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。
各スポーツセンター (6施設)	小体育室	207㎡ (多摩)	89.5% (多摩)	可 (条件付)	利用目的	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。 ・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。
	研修室	62㎡ (多摩)	88.3% (多摩)	可 (条件付)	利用目的	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。 ・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。
	第1・2武道室	370㎡ (多摩)	86.0% (多摩)	可 (条件付)	利用目的	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。 ・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。
	トレーニング室	205㎡ (多摩)	／	可 (条件付)	利用目的	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。 ・ダンス、バレエ等の利用が可能だが、稼働率が高く、誘導は難しい。

施設名	諸室	面積	稼働率	一般利用	利用者の条件	利用可否										ホール利用の誘導の可能性	
						ピアノ	楽器演奏	合唱	演劇・ミュージカル	ダンス	ハレエ	会議・講演会等	カラオケ	映画会			
教育会館	大会議室	312㎡	不明	不可	/	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・一般利用はできず、誘導は困難。
	会議室1	55㎡	不明	不可	/	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・一般利用はできず、誘導は困難。
	会議室2	55㎡	不明	不可	/	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・一般利用はできず、誘導は困難。
	会議室3	72㎡	不明	不可	/	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・一般利用はできず、誘導は困難。
	会議室4	38㎡	不明	不可	/	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・一般利用はできず、誘導は困難。
	会議室5	36㎡	不明	不可	/	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・一般利用はできず、誘導は困難。
白山中学校跡地施設	会議室6	36㎡	不明	不可	/	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	・一般利用はできず、誘導は困難。
	体育館	714㎡	86.4%	可 (条件付)	居住地等	×	×	×	×	×	×	▲ (音響設備無し)	×	×	×	×	・音響設備が無く、会議・講演会等での利用でも誘導は困難。
	食堂	290㎡	21.4%	不可	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	・選手宿舍であり、誘導は困難。
	宿泊室(36室)	40㎡	21.4%	不可	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	・選手宿舍であり、誘導は困難。
	談話コーナー	19㎡	21.4%	不可	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	・選手宿舍であり、誘導は困難。
	喫煙室	55㎡	21.4%	不可	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	・選手宿舍であり、誘導は困難。
リハビリテーション福祉センター 体育館	体育室	459㎡	/	不可	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	・障害者の方の施設であり、誘導は困難。
	ミーティングルーム	18㎡	/	不可	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	・障害者の方の施設であり、誘導は困難。

※面積は図面等から概算で算出。

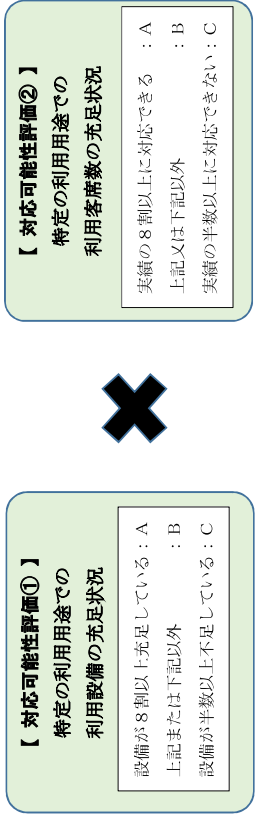
※稼働率は平成30年度データ。それ以外の年度データは括弧書きにて記載。(例：R3～令和3年度データ)

※稼働施設の面積、稼働率は括弧書きにて対象施設を記載。(例：各スポーツセンターの多摩→多摩スポーツセンター)

約9割の施設(114施設中101施設)でホール利用の誘導が可能と考えられる。一般利用可能な施設の内、ほとんどの施設(114施設中105施設)で年齢、居住地などの利用者の条件がある一方で、それらの中で稼働率が低い施設もある。また、利用用途の制限がある諸室の多くは、防音仕様となっていないことが理由となっており、施設改修等(防音対策など)により、誘導できる可能性が広がる可能性がある。公共ホール以外の公共施設との連携については、資産マネジメント第3期実施方針の考え方に基き、多様な機会が提供される公共施設(利用者制限等の緩和)や施設の多目的化(防音機能の整備等)も目指していく必要もある。

(3) 総合評価

設備の充足状況と利用客席数の観点のそれぞれの評価を以下の通りの統合し、特定の利用用途への現状の“向き不向き”の傾向を整理する。



【 利用用途別の対応可能性評価 (総合評価) 】

対応可能性評価①	対応可能性評価②	総合評価
A	A	A
A	B	B+
A	C	B
B	A	B+
B	B	B
B	C	B-
C	A	B
C	B	B-
C	C	C

総合評価の結果を相対的に確認し、「〇〇ホールは合唱には向いているが、演劇には向いていない」など、各ホールに向いている利用用途の傾向を把握する。

練習利用については、客席利用がほとんどなく、利用設備も限定される（設備不足が一定程度許容される場合がある）ことから、利用実績コマ数より不向きな施設のみを抽出する。

3. 課題施設の抽出

- (1) 利用合理性

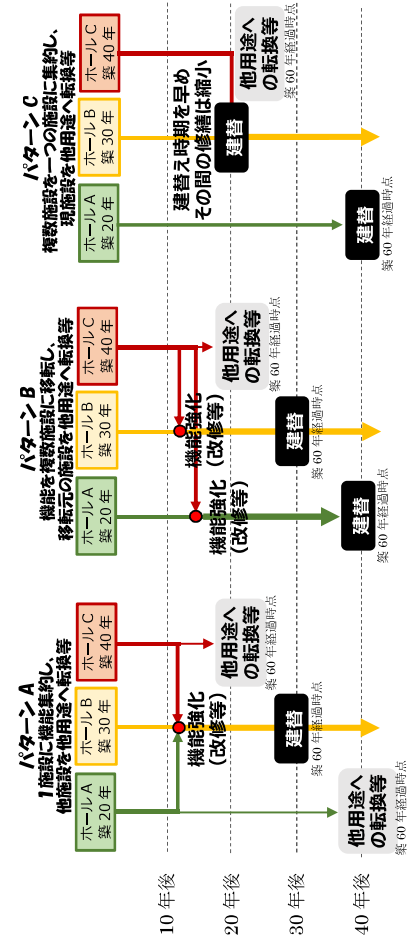
稼働率：年間利用コマ数÷利用可能コマ数
 客席稼働率：(年間利用コマ数×平均集客数) ÷ (利用可能コマ数×客席数)

経済合理性
 利用者数あたりの現状コスト・将来予測コストを算出し、中長期的視点での経済合理性について検証する。
- (2) 経済合理性
 利用者数あたりの現状コスト：(年間コスト(維持管理+事業運営)÷年間収入) ÷ 年間利用者数
 利用者数あたりの予測コスト：(60年間予測コストの年間平均) ÷ 年間利用者数

利用合理性や経済合理性の観点から検証を行い、稼働率が相対的に高い施設やコストが相対的に低い施設については、機能分担における改修(機能向上を含む)を検討する候補施設とし、稼働率(客席稼働率)が相対的に低い施設や、コストが相対的に高い施設については、他用途への転換等を検討する候補施設とする。

4. 検討の進め方と評価の考え方

特定の利用用途に向いているホールについては、現在の設備等を活かしながら改修等を通じた機能分担を行うことが有効であることから、総合評価の結果(利用用途別の対応可能性)を念頭に置きつつ、抽出した課題施設等を軸として、以下の様な適正配置のパターンを想定して役割分担を検討する。



特定の機能をホールBに集中し、ホールA、ホールCの関連設備の改修・修繕は限定的なものに留めることで総コストを抑制する。さらに、ホールA、ホールCは耐用年限の到来時期を見据えて今後のあり方を検討する。

ホールCの機能と需要量に応じて、ホールAとホールBの機能強化を行い、ホールCは耐用年限の到来時期を見据えて今後のあり方を検討する。

ホールCの耐用年限の到来時期にホールBを建替えて機能統合する。この場合、ホールBの当分の大規模修繕・計画修繕の規模を縮小する。

想定するパターン毎に各施設の60年間予測コストは変動するが、検討エリア内(生活行動圏内)での各パターンの機能分担の可否、60年間予測コストの多寡を中心に検討を行い、利用のしやすさ(交通アクセスの状況等)などを総合的に検証した上で、実効性のある機能分担の考え方を整理する。

機能分担評価のイメージ

	パターンA	パターンB	パターンC
現状維持	否	可	可
機能分担の可否	—	—	—
60年予測コスト	300億円	200億円	260億円
総合評価	—	X	◎

今後の検討の進め方について

